

玉垣 努（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 富田昌夫,竹中弘行,玉垣努 編著『臨床動作分析-PT・OT の実践に役立つ理論と技術-』三輪書店,2018年5月

4 学会等での活動

- 1) 脊髄損傷作業療法研究会にて講習会実施。
- 2) 第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ発表と運営
- 3) 日本生態心理学会発表と参加 9月3、4日

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 第33回リハ工学カンファレンス in あつぎの開催および運営
- 2) 平成30年度 介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会
- 3) 神奈川リハビリテーション事業団評議委員
- 4) 平成30年度ロボット介護機器開発・標準化事業 排泄支援(トイレ)機器分科会
- 5) 平成30年度ロボット介護機器開発・標準化事業 排泄支援(排泄動作支援)分科会
- 6) 障害者自立支援機器導入好事例普及事業好事例選考委員会
- 7) ヨスカ×スマートモビリティ・チャレンジ推進協議会

6 学内教育活動

- 1) 臨床指導者会議の運営を実施した。
- 2) 3年生対象に実習に向けての身体障害領域の特別講義4日各2コマ実施した。
- 3) 実際の頸髄損傷患者さんを見たことのない学生のために、臨床でのビデオを編集し講義の資料を作成。
- 4) 身体障害作業療法演習において客観的臨床テスト(オスキー)を実施
- 5) 実際の患者さんを見たことのない学生のために、日常生活援助論において頸髄損傷者及び脳卒中者を招聘し、実践的な教育を実施した。

7 学内各種委員会活動

- 1) 高校教員入試説明会にてプレゼン
- 2) ミニオープンキャンパスを実施した。
- 3) 全ての入試試験において面接官担当
- 4) オープンキャンパス全日程参加し、専攻説明会にてプレゼン
- 5) 人権倫理委員会
- 6) 看護及び社会福祉学科の採用面接官を担当した。
- 7) 自己評価委員会にて委員長を務めた

8 社会貢献

- 1) 県大卒業生および近隣の PT,OT 対象の「よこすか OT 勉強会」1 回／月の計 12 回
- 2) 神奈川リハセンター 評議委員として評議委員会に出席した 6 月 26 日。
- 3) トレーラーハウスミーティングを実施した。7 月 24 日
- 4) 日本チェアスキー協会主催チェアスキー大会にて、身体障害者スキーヤーに対するボランティア 2018 年 2 月
- 5) 神奈川スキー連盟主催障害者スキー講習会にて、身体障害者スキーヤーに対するボランティア 2018 年 3 月

9 講演, 放送

- 1) Laugh 講習会を大坂ドーンセンターにて「臨床で役立つ動作分析方法～生態心理学的視点を加えて～」のテーマで 4 月 9 日実施
- 2) 神奈川リハ地域支援センター主催講習会にてハンドリング入門の講師をつとめる 4 月 22 日.
- 3) 和歌山脊損連合会主催講習会にて講義を実施 5 月 21 日。
- 4) リハ工学協会関東・甲信越支部主催講習会にて「頸損の活動性（駆動）を考慮したシーティング」の講義 6 月 24 日。
- 5) 『環境適応講習会』受講生 120 名に対して食事動作についての講義および実技を実施した。7 月 17,18 日
- 6) 神奈川リハ地域支援センター主催「土曜日研修」において講師をつとめた 8 月 19 日.
- 7) 脊損作業療法研究会において講師をつとめた 9 月 27、28 日.
- 8) 関ヶ原病院主催研修会にて講義および実技を実施した。9 月 24 日
- 9) ハンドリング研究会にて講義および実技を実施した。11 月 4 日
- 10) 『脊損のリハビリテーション』の講義を大阪にて実施 11 月.
- 11) 穴吹リハビリテーション学院において「脊損のリハビリテーション」の講師をつとめた 1 月 20,21 日.
- 12) 脊損作業療法研究会臨床編において講師をつとめた 2018 年 2 月.
- 13) マークスター講習会を上大岡にて「臨床で役立つ動作分析方法～生態心理学的視点を加えて～」のテーマで 3 月 15 日実施

笹田 哲（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 笹田哲：子どもの「食べる楽しみ」を支援する ～特別な配慮を必要とする子どもの栄養ケア・マネジメントのために～ 日本健康・栄養システム学会監修 第5章 子どもの気になる食行動の見方とその指導法.建帛社,pp117-126,2018.8.
- 2) 笹田哲：不器用な子どもたちの「できた」が増える実践的な支援.小児科診療 UP-to-DATE Vol.31 35-38.2018.8.
- 3) 笹田哲：福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 改訂5版.発達障害、知的障害、自閉症、注意欠陥多動性障害、学習障害,192-196,東京商工会議所.2018.12.
- 4) 笹田哲：作業療法 臨地実習ルートマップ（改訂第2版）,第2章 臨地実習実技編 学習障害、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害の作業療法評価と治療,306-315,メジカルビュー社.2019.3.
- 5) 笹田哲：作業療法研究法（第3版）.第1章 研究とは,第2章 量的研究法.6-13.中央法規出版社.2019.3.

2 学術論文

- 1) 笹田哲：発達障害の作業療法 認知・学習.作業療法ジャーナル 52(8):814-818,2018.
- 2) 笹田哲：発達障害の作業療法 支援機関としての「学校」の機能～神奈川県の特例支援教育の取り組み～.作業療法ジャーナル 52(8):759-763,2018.
- 3) 笹田哲：発達性強調運動障害への対応～動作ピラミッド法による生活動作の評価と指導プログラム～.小児科 59(6):835-842,2018.
- 4) 笹田哲：給食が苦手な子どもへの支援.医療との連携 作業療法士. LD ADHD & ASD No14,50-51,2018.
- 5) 笹田哲：動作ピラミッド法による不器用な子どもの体・指先の評価～気になる動きを読み解く～.チャイルドヘルス Vol21 No6,49-51,2018.
- 6) 笹田哲：できたが増える できる体の作り方 上手にスプーンですくえない.チャイルドヘルス Vol21 No7,56-57,2018.
- 7) 笹田哲：できたが増える できる体の作り方 箸が上手に使えない.チャイルドヘルス Vol21 No8,58-59,2018.
- 8) 笹田哲：ちょっと気になる子どもの「できる」を増やすからだ遊び.チャイルドヘルス Vol.21 No8,48-50,2018
- 9) 笹田哲：できたが増える できる体の作り方 靴下が上手に履けない.チャイルドヘルス Vol.21 No9,54-56,2018.
- 10) 笹田哲：医療との連携～OT～字に書く“動き”に焦点をあてた書字支援. LD ADHD & ASD No13,50-51,2018.
- 11) 笹田哲：できたが増える できる体の作り方 上手にボタンがけができない.チャイルドヘルス Vol.21 No10,54-56,2018.

- 12) 笹田哲：できたが増える できる体のつくり方 字を適度の濃さで書けない. チャイルドヘルス Vol.21 No12,60-62,2018.
- 13) 笹田哲：医療との連携 整理整頓が苦手、姿勢が崩れやすい、ケガしやすい子に対する支援. LD ADHD &ASD No16,50-51,2019.
- 14) 笹田哲：給食が苦手な子どもへの支援.医療との連携. LD ADHD &ASD No14,50-51,2018.
- 15) 笹田哲：医療との連携 不器用な子に対する体育支援. LD ADHD &ASD No14,50-51,2018.

4 学会等での活動

- 1) 笹田哲：書字困難児童のための“カタカナ”字形トレーニングワークの開発に関する研究.第 52 回日本作業療法学会(名古屋市) 2018.9.
- 2) 池田公平,笹田哲：回復期病棟における脳卒中片麻痺患者の身体・行為の自覚が作業に及ぼす影響. 第 52 回日本作業療法学会(名古屋市) 2018.9.
- 3) 林慎也,笹田哲：脳卒中片麻痺者の母指 IP 関節,示指,中指 PIP,DIP 関節伸展補助テーピング効果の一考察. 第 52 回日本作業療法学会(名古屋市) 2018.9.
- 4) 丸山祥, ボンジェペイター, 笹田哲,神保洋平,赤星和人：作業療法における professional reasoning の概念分析. 第 52 回日本作業療法学会(名古屋市) 2018.9.
- 5) Well-being をもたらす家族の作業:自閉スペクトラム症児の母親のナラティブ分析. 第 22 回作業科学セミナー(東京都) .2018.12.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) NHK E テレ 特別支援教育番組「ストレッチマン・ゴールド」番組企画委員 番組 3 本製作
- 2) 日本作業行動学会 学術誌査読委員
- 3) 横須賀市建築審査会委員
- 4) 日本作業行動学会 理事
- 5) 日本発達系作業療法学会 理事
- 6) 日本発達系作業療法学会 学術誌査読委員
- 7) 日本作業療法士協会研究助成審査委員
- 8) 第 52 回日本作業療法学会 演題採択委員
- 9) 第 52 回日本作業療法学会 座長

6 学内教育活動

- 1) 大学院博士論文 指導教員 2 名
- 2) 大学院修士論文 指導教員 7 名 (4 名修了予定)
- 3) 学部 卒業研究 指導教員 4 名
- 4) 学部「遊び余暇活動治療学」で地域小学校との連携授業を導入
- 5) 2018 年オープンキャンパス入試相談、作業療法学専攻説明オリエンテーション

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員会 委員長
- 2) 研究科運営委員会
- 3) ヒューマンサービス研究会世話人

8 社会貢献

- 1) 横須賀市立馬堀小学校 大学生との交流授業実施 2018.11.
- 2) 神奈川県立養護学校自立活動教諭（専門職）OT部会アドバイザー2018.10.
- 3) 東京都八王子特別支援学校 講師 2019.2.
- 4) ラジオ日経 小児科診療 UP-to-DATE 出演 2019.4.

12 受賞

- 1) 日本作業行動学会（学術団体）優秀論文賞 2018.6.
「施設入所している重症心身障害者の作業参加に関する研究」
（修士課程で指導した修士論文が高く評価された）

森田 千晶 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (企画・編集) 森田千晶. (2018). 災害リハビリテーション標準テキスト. 東京: 医歯薬出版株式会社.

3 その他の著作

- 1) 森田千晶. (2018). 巻頭言 50年の重みとこれから. 総合リハビリテーション, 46(8), 697.
- 2) 森田千晶. (2018). セラピストに必要なリハ工学に関する卒前教育とは. リハビリテーション・エンジニアリング, 34(1), 2-5

4 学会等での活動

- 1) 座長 第34回日本義肢装具学会学実大会 「筋電義手1」

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本義肢装具学会 理事
- 2) 一般社団法人日本義肢装具学会 生涯教育のあり方検討委員会委員
- 3) 神奈川リハビリテーション病院 神奈川リハロボットクリニック アドバイザー
- 4) 第33回リハビリテーション工学カンファレンス 実行委員
- 5) 日本リハビリテーション工学協会 福祉機器コンテスト2018 選考委員
- 6) 乗馬リハビリテーション研究会 事務局
- 7) NPO 人と馬のリハビリテーション支援センター 理事

6 学内教育活動

1) 授業担当

1年次: 「作業療法概論」前期

1年生が初めて作業療法を学ぶ授業であるため、作業療法の歴史、定義、実践過程、対象者・対象領域について教授した。また、各領域の専門である教員から臨床の実際を含めて深く伝え、これからの学びについて理解を深めた。

3年次: 「ハンドセラピー学」前期

作業療法の特殊な分野であるハンドセラピーについて、その基礎から臨床の実際を教授した。臨床の場で多くを経験しているハンドセラピーの臨床家をゲストスピーカーとして招聘し、臨場感のある授業を心掛けた。

「義肢装具学」後期

上肢切断と義手の作業療法、装具と作業療法、下肢切断と義足について教授した。実際に切断者が使用していた義手の提示、筋電義手のシミュレーションによる使用体験を取り入れた。装具は主に作業療法士が作製するスプリント作製の演習を多く取り入れ、学生同士で実際のスプリントを作製する体験をした。また、

下肢装具に関しても理解を深めた。義足は下肢切断当事者と義肢装具士を招聘し、最新の義足を含めて紹介をした。授業ごとに振り返りシートを配布し、復習に役立てるよう指導した。

「作業療法研究法」後期

作業療法分野における研究法について教授した。初学者となる学生に研究の過程、研究手法、統計手法、研究倫理について知識を深め、4年次の卒業研究につながる授業を行った。

4年次：「作業療法理論」前期

作業療法における臨床の治療理論について、各領域の専門教員から最新理論を含めて作業療法における理論的枠組みと類型、臨床活動と理論の関係について教授した。

2) 実習関連

1年次生：担任として見学実習のコーディネートおよび引率を行った。実習後のセミナー開催を計画した。

2年次生：評価実習Ⅰ 実習地との連絡調整、学生フォロー

3年次生：評価実習Ⅱ 実習地訪問、電話連絡、学生フォロー

総合実習Ⅰ 実習地訪問、電話連絡、学生フォロー

4年次生：総合実習Ⅱ 実習地訪問、電話連絡、学生フォロー

3) ゼミ

3年生3名を担当し、学生の研究興味に関する外部研修会（義肢装具 SIG 研修会）、乗馬療育ボランティアへの参加を行った。

4) その他

1年次生の担任として学生の状況把握のため面談を行った。また、フォローの必要な学生に対しては面談をくり返し行った。

7 学内各種委員会活動

1) 国際協働部会

2) 広報委員会

8 社会貢献

1) SSH 横須賀高校プリンピキア 1 担当

14 その他

1) 作業療法士国家試験模擬試験の作成(2018). 義肢装具・福祉用具, 三輪書店

奥原 孝幸（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 水野健, 小砂哲太郎, 奥原孝幸. (2019). アルコール依存症者に対する精神科病院コメディカルスタッフがもつイメージー自助グループの参加経験の差による検討一. 神奈川県立保健福祉大学誌, 16(1), 87-94
- 2) 小砂哲太郎, 水野健, 奥原孝幸. (2019). 療養病棟へ長期入院中の統合失調症高齢患者の介護の手間と作業機能の状態. 病院・地域精神医学. 60(3), 52-56
- 3) 小砂哲太郎, 水野健, 野村千佳, 小林崇志, 奥原孝幸. (2019). 精神科急性期における作業療法が患者の主体的体験に与える影響ー入院回数、作業療法実施形態による比較一. 神奈川作業療法研究. 8(1), 23-29

4 学会等での活動

- 1) 奥原孝幸. (2018). CBT の理論と臨床実践. 横浜 CBT に集う会. (横浜)
- 2) 奥原孝幸. (2019). 集団と作業療法. 首都圏精神科作業療法連絡協議会. (横浜)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀市自殺対策連絡会構成員 (副座長)
- 2) 日本作業療法士協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進担当
- 3) 日本作業療法士協会制度対策部保険委員会委員
- 4) 日本作業療法士協会事例報告登録制度審査委員
- 5) 日本作業療法士協会学会演題審査委員
- 6) 神奈川県作業療法士会理事 (教育部担当)
- 7) 神奈川県作業療法士会代議員
- 8) 日本病院・地域精神医学会選挙管理委員会委員
- 9) 横浜 CBT に集う会代表
- 10) 首都圏精神科作業療法連絡協議会理事
- 11) 精神科作業療法集談会世話人
- 12) 第 3 回神奈川県臨床作業療法大会実行委員
- 13) 第 17 回神奈川県作業療法学会実行委員 (総括)

6 学内教育活動

- 1) 精神障害作業療法演習. ピア (当事者) への面接演習を実施.
- 2) 就業援助論. 就労支援施設のピアスタッフ、メンバー、施設長を招き、職業に関してシンポジウム形式にて授業を実施.
- 3) チューター会
- 4) 保健医療福祉論 I タスクフォース

7 学内各種委員会活動

- 1) 学部入試委員会委員

8 社会貢献

- 1) 横須賀市保健所自殺対策連絡会（副座長）

9 講演，放送

- 1) 生田病院教育研修会にて認知行動療法に関する講演「認知行動療法の理論と実践 1」
(2018.7)
- 2) 生田病院教育研修会にて認知行動療法に関する講演「認知行動療法の理論と実践 2」
(2018.10)
- 3) 「作業療法生涯教育概論」. 神奈川県作業療法士会現職者共通研修. (2018.10)
- 4) 「事例報告登録制度」. 神奈川県作業療法士会現職者共通研修. (2018.12)
- 5) 事例報告会座長. 神奈川県作業療法士会現職者共通研修事例報告会. (2019.3)

白濱 勲二（大学院研究科兼務）

4 学会等での活動

- 1) 白濱勲二、札野 優、安田 大典、川端 亜季、三原 菜穂子：脳卒中患者のリハビリテーションニーズの内容分析 第 52 回日本作業療法学会（名古屋）
- 2) 廣瀬卓哉、白濱勲二、児玉三彦、高橋真由美：脳梗塞急性期患者における転帰先に関わる因子の検討 第 12 回日本作業療法研究学会（埼玉）
- 3) 牛腸昌利、笹田 哲、白濱勲二：座位姿勢条件の違いによる運筆の運動特性 第 12 回日本作業療法研究学会（埼玉）

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 白濱勲二．日本作業療法学会 演題査読委員
- 2) 白濱勲二．日本作業療法学会 事例報告登録制度審査委員（A 審査）
- 3) 白濱勲二．日本作業療法研究学会雑誌 編集同人
- 4) 白濱勲二．三浦半島作業療法研究会 理事
- 5) 白濱勲二．第 52 回日本作業療法学会 演題査読
- 6) 白濱勲二．第 52 回日本作業療法学会 一般演題発表座長
- 7) 白濱勲二．第 12 回日本作業療法研究学会 基調講演 I 座長

6 学内教育活動

- 1) 白濱勲二．学部担当科目等の講義・演習
- 2) 白濱勲二．学部卒業研究指導
- 3) 白濱勲二．保健学研究科における講義、演習、研究指導。
- 4) 白濱勲二．博士課程前期・後期 大学院生の教育・研究指導

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会 委員長 2017 年 4 月～2018 年 3 月

8 社会貢献

- 1) 白濱勲二．オープンキャンパスでの入試相談 2018.8.4-5
- 2) 白濱勲二．三浦半島作業療法研究会 第 48～52 回研修会 企画運営・実施。
- 3) 白濱勲二．横須賀市社会福祉協議会 高齢者身体測定会 2018.10.27

9 講演，放送

- 1) 学内研修会 講師：白濱勲二．研究倫理講習会 2018 年 5 月 23 日・6 月 9 日

小河原 格也（大学院研究科兼務）

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 代議員 2018.4～2019.3
- 2) 日本作業療法士協会事例登録 審査委員 2018.4～2019.3
- 3) 日本臨床作業療法研究 査読委員 2018.4～2019.3
- 4) 日本保健福祉学会学術集会 運営 2018.9

6 学内教育活動

- 1) 老年期作業療法学. 2018.10～2019.3
- 2) 老年期作業療法学演習. 2018.4～2018.9
- 3) 地域作業療法学. 2018.4～2018.9
- 4) 地域作業療法学演習. 2018.4～2018.9
- 5) 作業療法概論. 2018.6
- 6) 評価学概論. 2019.1
- 7) 運動学. 2019.1
- 8) 運動学演習. 2018.6
- 9) 遊び・余暇活動治療学. 2018.11
- 10) 作業療法理論. 2019.1
- 11) 評価学実習Ⅰ・Ⅱ、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ. 2018.4～2019.3
- 12) 卒業研究. 2018.4～2019.3
- 13) 地域理学療法学. 2018.6
- 14) 在宅看護学. 2018.4.
- 15) 国家試験対策. 2018.11～2019.2
- 16) 学部卒業研究指導（3年生3名，4年生3名）2018.4～2019.3
- 17) 機能障害作業療法学（大学院）. 2018.6
- 18) 機能障害作業療法演習（大学院）. 2018.12
- 19) 博士前期課程 副指導教員（4名）2018.4～2019.3

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会. 2018.4～2019.3
- 2) 実習センター運営委員会. 2018.4～2019.3
- 3) チューター. 2018.4～2019.3
- 4) windsurfing サークル顧問. 2018.4～2019.3

8 社会貢献

- 1) グループホームいずみ運営推進会議構成員. 2018.4～2019.3
- 2) 小規模多機能なかよし運営推進会議構成員. 2018.4～2019.3
- 3) RUN 伴+三浦半島. 2018.4～2019.3

- 4) 認知症フレンドリーよこすか. 2018.4～2019.3
- 5) オープンキャンパス. 2018.8
- 6) ミニオープンキャンパス模擬授業. 2019.3

9 講演, 放送

- 1) 横須賀市 地域型介護予防サポーター養成講座. 主催: 西第一地域包括支援センター (2018.5.14・28)
- 2) 平作カフェ健康教室講師. 主催: グループホームいずみ (2018.7.24)
- 3) 平成 30 年度 ゆめクラブ大学 講師. 主催: 横須賀・三浦ブロック老人クラブ連絡協議会 (2018.10.25)
- 4) 底力アップ教室講師. 主催: 横須賀市西第一・第二地域包括支援センター合同主催 (2018.11.30)
- 5) 平成 30 年度 多職種連携のための認知症セミナー講師. 主催: 横須賀市、一般社団法人横須賀市医師会 (2019.2.15)

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金・若手研究 B (平成 28 年度～30 年度)
「運動学習における脳内活動の縦断的変化と補助手段活用による促進効果の検証」

長山 洋史 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 友利幸之介, 京極真, 竹林崇: 作業で創るエビデンス: 作業療法士のための研究法の学びかた, 東京, 医学書院 (執筆協力)

2 学術論文

- 1) Nagayama H, Kobayashi N, Ishibashi Y, Kobayashi R, Murai C, Yamauchi K. Cost and outcome of occupation-based practice for community dwelling frail elderly: a pilot study. *Clinical intervention in aging*:13 Pages 1177-1182, 2018
- 2) 石橋裕, 小林法一, 小林隆司, 村井千賀, 長山洋史. 訪問型・短期集中予防サービス (サービス C) が有効であった事例. *作業療法* (印刷中), 2018
- 3) 山口清明, 奥津光佳, 長山洋史, 友利幸之介. 幼稚園・保育園でのコンサルテーション型作業療法の効果検証に向けた試験的研究. *作業療法* 37(2), 145-152, 2018

4 学会等での活動

- 1) H. Nagayama, N. Kobayashi, Y. Isibashi, R. Kobayashi, C. Murai. Effectiveness and efficiency of new preventive intervention services for community dwelling frail older people: pilot study. 12th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM) Paris, 2018
- 2) N. Kobayashi, Y. Isibashi, R. Kobayashi, C. Murai, H. Nagayama. Results of occupational therapy in a new community support project for frail older people in Japan. World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM) Paris, 2018
- 3) Y. Ishibashi, N. Kobayashi, R. Kobayashi, C. Murai, H. Nagayama, H. Ishibashi. The characteristics of frail elderlies using new type of a short term intensive preventive service C in Japan. 12th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM) Paris, 2018
- 4) 長山洋史, 友利幸之介, 森脇健介. 回復期リハ病棟入院中の脳血管障害者に対する ADOC を用いた作業療法の長期的費用効果分析—マルコフモデル分析を用いて— 第 52 回日本作業療法学会 名古屋, 2018
- 5) 中村康之, 岸知輝, 長山洋史, 川島淳子. 潜在クラス分析を用いた保険薬局におけるヒヤリ・ハットの類型化. 第 51 回日本薬剤師会学術大会 金沢, 2018
- 6) 岸知輝, 長山洋史, 川島淳子, 中村康之. テキストマイニングと潜在クラス分析を用いた保険薬局における薬剤取り違え事例の類型化. 第 13 回医療の質・安全学会学術集会 名古屋, 2018

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本臨床作業療法学会誌 論文査読委員
- 2) 日本作業療法学会 演題査読委員

- 3) 1st International Congress of Clinical Occupational Therapy (第1回世界臨床作業療法学会) 学術部員
- 4) 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

6 学内教育活動

- 1) 身体機能評価学Ⅰ 科目責任者
- 2) 身体機能評価学Ⅱ 科目責任者
- 3) 評価学演習 科目責任者
- 4) 運動学 科目責任者
- 5) 作業療法概論
- 6) 地域作業療法学
- 7) 日常生活活動論
- 8) 研究法
- 9) 機能障害作業療法学
- 10) 機能障害作業療法学演習

7 学内各種委員会活動

- 1) 2015年度入学生担任(現4年生)
- 2) 教務委員
- 3) 研究助成専門部会 委員

8 社会貢献

- 1) Health and Quality of Life, Topics in Stroke Rehabilitation, Disability and Rehabilitation, Health Service Research など国際紙査読

9 講演, 放送

- 1) 作業療法実践の質を高める研究法セミナー【入門編】, 仙台, 講師

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金 若手研究 研究代表者
- 2) 神奈川県薬剤師会薬学研究補助金 分担研究者

12 受賞

- 1) Archives of physical medicine and rehabilitation Outstanding Contribution in Reviewing, 2018

池田 公平

3 その他の著作

- 1) 池田公平. (2019). 編集部が見つけたトキメキ発表 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺患者の身体・行為の自覚が作業に及ぼす影響: 第 52 回日本作業療法学会 in 名古屋. 臨床作業療法, 15(6), 522-523.

4 学会等での活動

- 1) 池田公平, 笹田哲. 回復期病棟における脳卒中片麻痺患者の身体・行為の自覚が作業に及ぼす影響. 第 52 回日本作業療法学会 (名古屋)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県作業療法士会 事務局
- 2) 神奈川県作業療法士会 選挙管理委員会 選挙管理委員長
- 3) 第 17 回神奈川県作業療法学会 財務部 部長

6 学内教育活動

- 1) 評価学概論 科目責任者
- 2) 身体機能評価学 I 15 コマ
- 3) 身体機能評価学 II 15 コマ
- 4) 評価学演習 15 コマ
- 5) 作業療法概論 1 コマ
- 6) 作業療法管理運営 1 コマ
- 7) 老年期作業療法学演習 (レク実習補助)
- 8) 身体障害作業療法学演習 (試験補助)
- 9) 臨床作業療法学実習 6 コマ
- 10) 作業療法管理運営 1 コマ
- 11) 解剖学実習 II (引率)
- 12) 保健医療福祉論 I (事前事後指導担当)
- 13) 評価学実習, 総合臨床実習における各サポート

7 学内各種委員会活動

- 1) 時間割編成ワーキング
- 2) 平成 30 年度卒業式・修了式および平成 31 年度入学式実行委員

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, ミニオープンキャンパス (運営補助)
- 2) 医療法人横浜柏提会よこすか浦賀病院 非常勤

杉村 直哉

2 学術論文

- 1) Shimada T, Ohori M, Inagaki Y, Shimooka Y, Sugimura N, Ishihara I, Yoshida T, Kobayashi M. A multicenter, randomized controlled trial of individualized occupational therapy for patients with schizophrenia in Japan. *PLoS One*. 2018 Apr 5;13(4):e0193869. doi: 10.1371/journal.pone.0193869. eCollection 2018.

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) ネットワーク：信州精神科作業療法研究会メーリングリスト管理者

6 学内教育活動

1) 授業関連

【科目責任】

- ・基礎作業学実習（1年次）：

基礎作業種目について、作業療法の臨床に適合させるため、教示するアクティビティをこれまでの2種目から3種目に増やし、当科目にかかわる国家試験問題を学習早期から意識づけるよう資料を作成する等の工夫をした。

【卒業研究】

4年生2名,3年生1名を担当した。各種作業検査の結果から、基本的な統計処理について教示し、論文指導を行った。

【一部担当科目】

- ・作業療法学概論(1年次):精神障害作業療法の歴史
- ・精神機能評価学(2年次):ICFについて
- ・感覚運動アプローチ論(3年次):精神障害へのアプローチ
- ・精神障害作業療法学演習(3年次):精神科デイケア
- ・身体障害作業療法学演習(3年次):OSCE補助
- ・遊び余暇活動治療学(3年次):リラクゼーション法
- ・産業リハビリテーション特論(3年次):ストレスチェック
- ・就業援助論(3年次):気分障害の復職支援
- ・評価法概論(1年次):作業面接について
- ・作業療法運営管理(4年次):管理運営,国家試験
- ・臨床作業療法学実習(3年次):精神科 OSCE マニュアルと試験問題を作成

【その他】

- ・評価学実習Ⅱ(3年次):施設担当,実習地訪問
- ・総合臨床実習Ⅱ(4年次):施設担当,実習地訪問
- ・総合臨床実習Ⅰ(3年次):施設担当,実習地訪問
- ・解剖学実習(2年次):引率

2) 国家試験対策係

国家試験に関する情報整理やオリエンテーション、模試試験のセッティングと結果集計・分析など国家試験に係る業務

3) 臨床実習に係る業務（学生支援，実習関連書類作成，等）

実習地や実習センターとの調整，学生に対するオリエンテーションの実施，資料作成，発送，指導者会議のセッティングなど臨床実習に係る業務

4) 就職支援に関連する業務

就職履歴書指導，小論文指導，面接指導など就職支援に係る業務

5) オープンキャンパス関連

ミニオープンキャンパス補佐（6/16）

オープンキャンパス：学生配置，掲示物の作成，配布物の作成など（8/5）

7 学内各種委員会活動

1) FD・SD委員会

各種FD・SDの企画・運営，研修会における司会など

2) 自己評価専門部会

30年度四半期ごとの実績報告，31年度計画の立案

3) 入学式実行委員会

30年度入学式に係る業務

4) 入試関連業務

特別推薦入学試験（11/23）

センター試験（1/19）

8 社会貢献

1) A精神科クリニックに対し，精神認知機能評価に関するレクチャーと実施協力

11 学内研究助成金の受託

1) 平成30年度神奈川県立保健福祉大学保健福祉大学学長推薦研究費．研究期間2018.7～2020.3．交付金額450千円．

12 その他

認定認知矯正療法士 資格取得（2019.3）

中村 拓人

4 学会等での活動

- 1) 中村拓人, 小田原悦子 & 笹田哲 (2018). Well-being をもたらす家族の作業:自閉スペクトラム症児の母親のナラティブ分析, 第 22 回作業科学セミナー抄録集. P34

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本作業科学研究会国際部委員 (通年)
- 2) 第 31 回 日本保健福祉学会学術集会の運営スタッフを行う(2018 年 9 月 29 日).

6 学内教育活動

- 1) 「作業適用学」で科目責任者を務める (通年). 新入生が作業療法に対する具体的なイメージを持つことができるよう, 講義だけではなく, 視聴覚教材や, ワークショップ形式も採用した. また専攻教員に協力を求め, グループに別れて事例を検討する問題解決型の事業を行った.
- 2) 「評価学概論」では「QOL・役割・興味の評価」の会を担当した (2019 年 1 月 28 日).
- 3) 「発達系評価学」(2018 年 4 月 10 日~7 月 31 日)「発達障害作業療法学」(2018 年 10 月 1 日~2019 年 1 月 21 日)に補助として全ての講義に参加し,おおよそ半分程度の講義を受け持つ.どちらの科目でも, 実際の子どもの様子や作業療法場面を視聴覚教材を豊富に併用して, 学生の理解を促した.
- 4) 「発達障害作業療法学演習」(2018 年 4 月 13 日~7 月 20 日)は補助教員として全ての講義に参加.「遊び余暇活動治療学」2018 年 10 月 4 日~11 月 29 日),おおよそ半分程度の授業を担当する. また「地域作業療法学」(2018 年 7 月 20 日)「感覚運動アプローチ論」(2018 年 5 月 10 日)「作業療法研究法」(2018 年 11 月 12 日)で講義を担当した.「臨床作業用法学演習」では, 実技試験 (OSCE) (2018 年 12 月 20 日)を担当した.
- 5) 4 年生「作業療法管理運営」では講義 (2019 年 1 月 21 日)を担当した.

7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会 (通年), 進路指導ワーキンググループ (通年), 自己評価委員会 (通年)に所属し, 活動を行う.
- 2) 専攻では, 評価学実習や総合臨床実習に関する書類のやりとりや, そのほか雑務を他の助教と仕事を分担しながら執り行った (通年)
- 3) オープンキャンパス, センター試験, 推薦入試など, 入試業務や学内行事に参加.

8 社会貢献

- 1) 発達障害児に関わる支援者を対象とした「気になる子どもの学習と生活研究会」の運営 (2018 年 5 月 4 日, 7 月 1 日, 8 月 7 日, 8 月 19 日, 10 月 28 日, 11 月 25 日, 2019

年 3 月 24 日) ,子どもと家族を対象とした「体の使い方教室」の運営 (2018 年 5 月 13 日,6 月 17 日, 9 月 30 日, 10 月 21 日, 11 月 18 日, 2019 年 1 月 20 日, 3 月 10 日) を行う.

- 2) 作業科学研究会 国際交流部員として文献翻訳などの活動を行う (通年)